

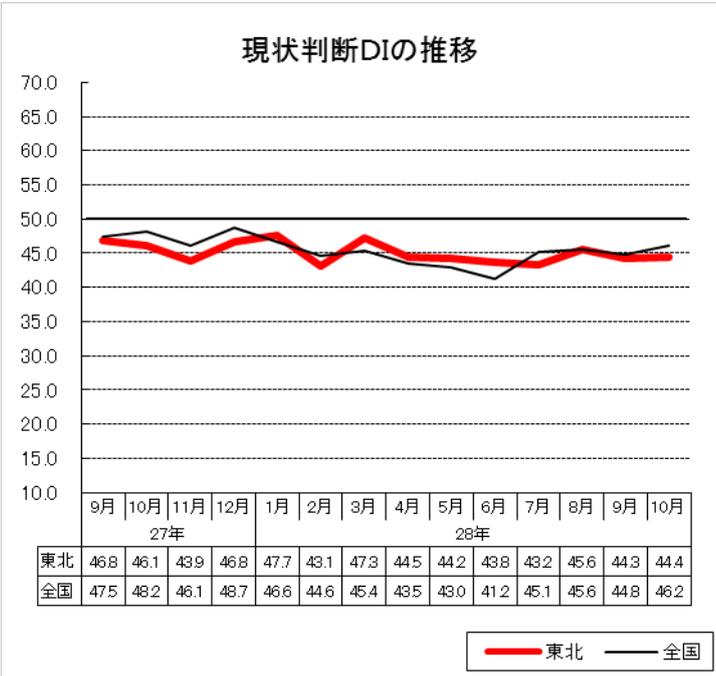
報道機関各位

公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 10 月東北分
 (新潟を含む東北 7 県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：海輪 誠・東北電力(株)取締役会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 平成 28 年 10 月東北分（新潟を含む東北 7 県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「44.4」と2か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+0.1 ポイントとわずかに上回ったが、15か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。



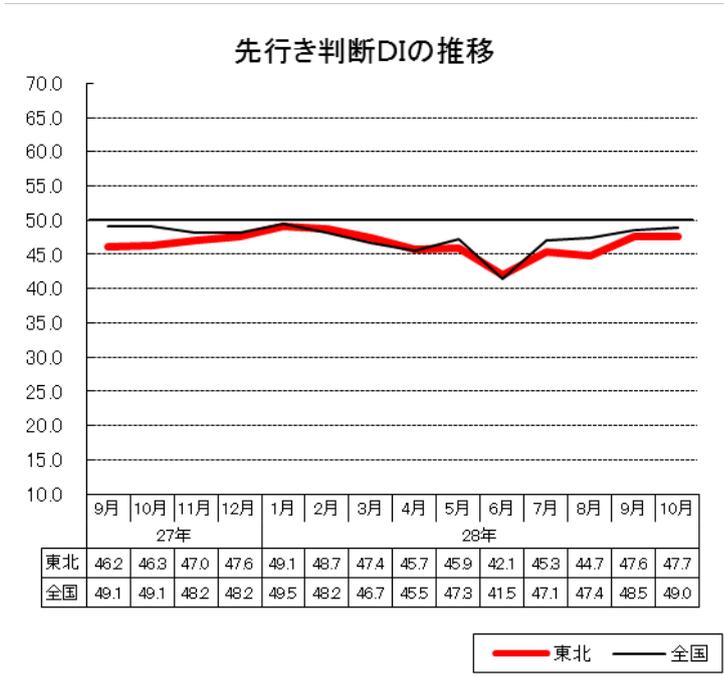
・家計動向…高級レストラン、タクシー運転手、美容室等で DI が前月を下回ったが、観光名所・遊園地、商店街代表者、都市型ホテル等の業種で DI が前月を上回った。DI は「43.7」(+0.4)と2か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 17 か月連続で下回った。

・企業動向…金融業、司法書士・経営コンサルタント、その他企業動向を把握する者等で DI が前月を上回ったが、その他非製造業、農林水産業従事者、出版・印刷・同関連産業、輸送業等の業種で DI が前月を下回った。DI は「42.5」(▲5.0)と2か月連続で前月を下回り、基準値 50 を 7 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「52.3」(+8.0)と6か月ぶりに前月を上回り、基準値 50 を 4 か月ぶりに上回った。

2. 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断 DI は「47.7」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.1 ポイントとわずかに上回ったが、16か月連続で景気判断の基準となる50を下回った。



・家計動向…タクシー運転手、一般レストラン、住関連専門店等の業種で DI が前月を上回ったが、観光型ホテル、衣料品専門店、百貨店等の業種で DI が前月を下回った。DI は「47.0」(▲0.4)と2か月ぶりに前月を下回り、基準値 50 を 16 か月連続で下回った。

・企業動向…農林水産業従事者、電気機械器具製造業建設業等の業種で DI が前月を下回ったが、それ以外の業種では前月から DI が横ばいもしくは上回った。DI は「48.8」(+1.3)と2か月ぶりに前月を上回ったが、基準値 50 を 7 か月連続で下回った。

・雇用動向…DI は「50.0」(+1.1)と、2か月ぶりに前月を上回り、2か月ぶりに基準値 50 に達した。

<参 考>

■D Iの推移※

(1) 現状判断(方向性) D I

	27年				28年									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北現状	46.8	46.1	43.9	46.8	47.7	43.1	47.3	44.5	44.2	43.8	43.2	45.6	44.3	44.4
家計動向関連	45.6	44.9	42.3	45.7	47.3	41.7	46.6	42.5	42.4	43.2	42.2	44.4	43.3	43.7
企業動向関連	48.7	47.5	47.6	47.4	47.0	46.2	50.0	46.9	46.7	42.5	43.6	48.0	47.5	42.5
雇用関連(参考)	51.1	51.1	47.7	52.3	51.1	46.6	46.4	52.5	51.3	50.0	48.9	48.9	44.3	52.3

(2) 先行き判断D I

	27年				28年									
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
東北先行き	46.2	46.3	47.0	47.6	49.1	48.7	47.4	45.7	45.9	42.1	45.3	44.7	47.6	47.7
家計動向関連	45.0	45.9	45.3	46.6	48.8	49.1	46.5	44.8	44.7	43.6	45.0	42.6	47.4	47.0
企業動向関連	46.8	46.3	51.2	46.1	49.4	44.9	50.0	46.9	48.0	36.3	44.2	48.7	47.5	48.8
雇用関連(参考)	52.3	48.9	50.0	56.8	51.1	53.4	48.8	48.8	50.0	43.8	48.9	51.1	48.9	50.0

※D I (Diffusion Index) について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 平成 28 年 10 月 25 日～31 日

回答者数 196/210 名、回答率 93.3%(全国 1,887/2,050 名、92.0%)

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター (担当: 萱場 喜樹)

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL : 022-225-1426 FAX : 022-225-0082

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

- （商店街）…比較的温暖な天候が続いている。好天に恵まれて雨が少ないこともあり、商店街の通行量や来客数が増加している。特に飲食業においては、夜間の来客数が増えている。
- （乗用車販売店）…新型車イベントの効果で、新車の受注が増加傾向である。また、車検需要も多く、サービス在庫も増えている。
- （ショッピングセンター）…天候不順により8月から続いていた夏物、秋物衣料の販売不振は、寒さの到来とともに回復がみられている。また、旅行や各種イベントの参加など、サービス業態への消費のモチベーションも向上しつつある。
- （都市型ホテル）…来客数に動きが出てきており、数か月続いていたフリー客の減少傾向が、今月はプラスに転じている。数字が大幅に悪化した前年10月との比較のため、来客数、売上共に大きく改善している。
- （遊園地）…雨の多かった9月とは一変して雨が少なく、前年よりも順調に推移している。単価が下降気味ではあるものの、底堅い動きとなっている。
- （金融業）…県内の新設住宅着工戸数は、前年同月比においてプラス基調が続いている。
- （人材派遣会社）…採用難が続いており決して順調ではないが、採用活動において、派遣や紹介を選択する新規企業の依頼が若干増えている印象がある。

○「変わらない」

- （百貨店）…来客数に大きな変化はないものの、1品単価、客単価共に下落が続いている。気温の低下に伴い冬物需要に期待しているが、低単価商品中心の動きとなっている。また、トレンドへの切替えを意識した客も、ショートブーツやコーディガンの購入が中心であり、単価は下がり気味である。
- （衣料品専門店）…客の購買行動は相変わらず慎重である。値下げをするか、キャッシュバックなどのメリットが無いと、購買につながらないケースが増えてきている。
- （家電量販店）…来客数は前年比98%と若干減少しているものの、客単価の上昇により、売上は前年並みとなっている。また、季節商材の動きは鈍いが、白物家電、AV機器、パソコン関連などは前年を上回っている。
- （一般レストラン）…かつて無いほど来客数が悪かった8～9月と比較すれば、若干来客数は戻ってきているものの、まだまだ景気が良いというレベルではない。かなりの企業努力をした結果である。
- （観光型旅館）…繁忙期のため来客数は多いものの、例年とほぼ同様の推移であり、景気が良くなってきているとまではいえない。
- （旅行代理店）…国内は、長雨の影響により個人旅行を中心に伸び悩みが続いている。また、海外における情勢不安も払拭できていない。このような傾向が続いているため、客はまだ様子見をしている。
- （タクシー運転手）…夜も昼も客が異常に少ない。特に年配者がタクシーに乗らなくなっている。
- （通信会社）…取引先を定期的に訪問しているが、状況は前月と変わらない。値下げ要求のみであり、新規商材や追加については反応を示さない。
- （電気機械器具製造業）…景気のパロメーターの一つである、カスタム製品の開発頻度、受注頻度、開発スパンに大きな変化はなく、安定している。
- （建設業）…通常の受注のほか、今年度当初に出した見積物件がようやく決まってきた。
- （職業安定所）…新規求人数は前年同月比11%強の増加、月間有効求人数は前年同月比3%台の増加と、緩やかな増加傾向を示しており、求職者数も前年同月と比較して微減となっている。このため、有効求人倍率は3か月連続して1.2倍台となっているが、臨時パートを合わせた求人全数が多い傾向は大きく変わらず、求人からみた景況感に大きな動きはない。

(学校就職担当者) …獲得求人数は微増しているものの、前年と比較して大きな変化はない。

○「やや悪くなっている」

- (スーパー) …10月は、天候が悪く低迷した前月分をばん回しつつも、前年の実績には届いていない。また、日照不足、台風が相次いで北海道に上陸した影響による野菜の価格高騰、海水温度の影響による秋鮭、さんまの不漁や小型化による価格高騰など、消費環境は極めて悪い。
- (コンビニ) …9～10月前半は、好天の影響により飲料、アイスなどが好調であった。しかし、10月後半に気温が例年並に戻った途端、客単価の低下が著しい。揚げ物、コーヒーなど、カウンター周りのプラス品の購入が減少している。
- (酒類専門店) …天候が不安定なこともあり、飲食店への販売量が減少している。平日は特に注文数も少なく、耐え切れず閉店する店舗も出てきている。また、災害などの影響による物価の上昇が前月よりも大きく、消費者の買い控えに拍車をかけている。小売業では景気回復の兆候は一切見受けられない。
- (美容室) …常連客の来客数は、減少傾向にあるもののマイナス幅は現状を維持している。しかし、新規客の来客数の減少が激しく、厳しい状況となっている。
- (リフォーム業) …工事件数、受付件数共に、前年を下回っている。
- (食料品製造業) …前年と比較して販売量が4～5%減少している状況が続いている。利益率の低い商品が多く、販売量の減少により利益面でも大苦戦している。
- (出版・印刷・同関連産業) …広告スポンサーの動きが悪い。特に飲食店は前年に比べて20%の落ち込みとなっている。
- (窯業・土石製品製造業) …被災3県、被災以外の3県共に、需要の減少がみられており、回復の兆候がみえない。
- (広告業協会) …マスメディア各社の上期の売上は、新聞社が前年を下回ったものの、テレビ、ラジオ局各社は前年を上回っており、オリンピック関係などが売上を支えたとみている。ただし、地元での売上は伸びていない。

○「悪くなっている」

- (医薬品販売店) …店舗が繁華街にあるため、金、土曜日は非常に多くの人でにぎわう。しかし、今月はどういいうわけか、平日と変わらないぐらいの人の動きである。周囲の店舗からも何かおかしいとの声が出るほど、人出が少ない。
- (高級レストラン) …一時期は景気が良くなる兆しがみられたものの、最近は明るい材料が無くなったのか、むしろ悪くなっている。
- (飲食料品卸売業) …首都圏など県外向けの出荷が大きく落ち込んでいる。特に飲食店や百貨店における落ち込みが大きい。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

- (一般レストラン) …年末の忘年会シーズンの到来により、飲食店にはフリー客以外の予約が多く入る見込みである。余程のことがない限り、飲食店にとっては嬉しい結果となるとみている。

○「やや良くなる」

- (高級レストラン) …ここ数か月先の予約状況や、周辺の飲食店の動向からは、前年に比べて早い時期からの予約が取れている。また、大型予約も入っているため、景気はやや良くなっていくとみている。
- (食料品製造業) …年末需要の高まりにより、景気は上向くとみている。
- (一般機械器具製造業) …受注量は増加傾向にあり、数か月は続く見通しである。ただし、円高により輸出の採算性の悪化が継続しているため、一部国内受注の増加効果と相殺されるところがある。
- (経営コンサルタント) …東北には、秋から冬にかけて収益源となる種々のコンテンツがあるため、期待ができる。

○「変わらない」

- (寝具販売店) …これから冬物商戦が始まるが、まだまだ暖かい日が続いており、客の反応は今一つである。そのため、買い控えが続くのではないかと心配している。
- (スーパー) …11月は前年より日曜日が1日少ないため、やや厳しい月になる。また、採用難と時給アップ、ガス、電気料の上昇など、経費の増加も見込まれており、経営環境的にも良くない状況である。将来への不安が払拭できない生活環境が続く限り、消費の低迷は続くのではないかと。
- (白衣・ユニフォーム専門店) …先行きが不透明なため、各企業はとにかく経費を削っていくのではないかと。ネット販売で一番安い値段を提示され、その価格に合わせざるを得ない状況が、これからますます増えていくとみている。売上も利益もとにかく厳しくなっているが、この流れは止められないだろう。
- (美容室) …ボーナス商戦による盛り上がりはあるだろうが、現在の不景気感から、来客数や客単価は厳しい状況が続くと見込んでいる。
- (建設業) …工事発注が前倒しされた影響により、年度末に集中する傾向がある工事発注が、結果として分散化が図られている。そのため、例年と比較すると、年度末に向けた工事発注量の上昇があまりない可能性がある。
- (新聞社[求人広告]) …秋口の台風直撃による農作物の不調、また、温暖化の影響と中国などアジアの乱獲によるさんまの漁獲高の減少により、東北に落ちるお金が減少している。加えて、ヒト、モノ、カネが首都圏に集中しており、東北地方の先行きは光明が見出せない状況である。
- (職業安定所) …業種によって景況感にばらつきがみられている。保育、介護などは、来年4月に向けた開設予定などにより求人が増えているが、建設業などでは若干の落ち着きがみられている。そのため、全体としては変わらない状況が続くとみている。

○「やや悪くなる」

- (百貨店) …1年間で最大の商戦となる年末年始であるが、不要なものは買わないという生活防衛意識が高まりつつあり、今後のセールや福袋などの動きは厳しくなるとみている。
- (コンビニ) …客が通販に流れていることに加えて、建設業者の景気の差がはっきりしており、下請になればなるほど厳しい状況がある。景気は震災前と同じであるという話もあり、その人達の消費が減少している。それに伴い、繁華街などの飲食店も厳しくなっており、悪い影響が表れている。
- (衣料品専門店) …この先は、周囲の店舗も冬物セールとなる。また、時期的に充実した冬物の品ぞろえが難しくなる。
- (観光型ホテル) …忘年会、新年会の引き合いは前年より少なくなる見込みである。
- (旅行代理店) …行楽シーズンが続く11月までの予約状況は好調である。しかし、12月になると国内、海外共に、極端に予約状況が悪くなっている。
- (農林水産業) …9～10月の天候があまり良くなかったため、りんごの色づきが悪い。販売単価への影響を心配している。
- (輸送業) …燃油費の値上げ要請がある。この先は現状維持をしていかなければならない。
- (人材派遣会社) …年末商戦を前にしても、企業や商店の採用難易度に対する警戒心は強い。できない採用に経費をかけるよりも事業規模の縮小を選択する企業も少なくない。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上